

特集

変革期を迎えた 透析栄養管理の最新情報

特集にあたって

北島幸枝 東京医療保健大学

透析医療の現状と栄養管理の問題点

細島康宏 福島県立医科大学

透析療法とタンパク・アミノ酸漏出

浦邊俊一郎 順天堂大学

透析患者のエネルギーおよびたんぱく質摂取管理 における考え方

北林 紘 村上記念病院

透析患者のカリウムおよびリン管理の変革

田中 舞 竹田綜合病院

透析患者に対するリハビリテーションと 栄養管理の必要性

高橋 蓮 偕行会城西病院

腸内環境を考慮した透析患者の食事について考える

石田淳子 金城学院大学

SDM・CKM における栄養療法のあり方

坂井敦子 斎藤内科クリニック

【コラム】妊娠期透析患者における栄養管理

矢澤和恵 埼玉医科大学

■ 編集委員

上原秀一郎 日本大学

黒谷佳代 昭和女子大学

澤田実佳 東京大学病院

高田健人 十文字学園女子大学

古田 雅 東邦大学医療センター大森病院

馬 渕 卓 東京科学大学

■ 編集協力者

北島幸枝 東京医療保健大学

嶋津さゆり 熊本リハビリテーション病院

志水晃介 大阪医科薬科大学病院

土井悦子 虎の門病院

中原さおり 鈴鹿医療科学大学

今後の特集予定

8月号 マッスルヘルス
—低栄養・肥満・
カヘキシアの統合管理

9月号 腸管リハビリテーション
最前線
—栄養・薬物・外科的治療
による包括的支援

9月臨時増刊号
未病と栄養

10月号 食べる力を支える
認知症ケア

11月号 リハビリテーション栄養
3.0
—新時代の包括的・
個別的アプローチ

編集後記

私事となりますが、5月末より長期間お休みをいただく予定です。入社から約4年間にわたり本誌の編集に携わらせていただき、栄養学の最先端に触れながら幅広い領域の誌面を編むという大変貴重な経験ができました。早めに復帰できるよう、休業中は（できれば）普段よりもバランスのよい食事、運動を心がけたいと思います。（西田）

5月臨時増刊号では「老年栄養エキスパートブック」と題して、高齢者特有の栄養問題や食事療法などの基本から、アナボリックレジスタンス、マッスルヘルス、デジタルヘルスといった最新知見まで網羅的にご解説いただいています。病院・施設・在宅を問わず高齢者の栄養ケアに携わる医療従事者に必携の一冊です。ぜひ一読ください。（白井）

ご投稿について

本誌では読者の皆様からの投稿を歓迎いたします。原稿は①原著論文、②報告（活動・実践・症例など）の2種類を受け付けます。なお、市販製品の開発・試験・治験にかかわる投稿については掲載料を申し受けます。詳しい執筆要項や投稿方法などは弊社ウェブサイトの「臨床栄養」のページにある投稿規定をご覧ください。

本誌の購読について

■ 定期購読のおすすめ

- ・最寄りの書店に「定期購読」をお申し込みください。欠号のおそれがなく、確実にお求めいただけます。
- ・便利な前金一括払いでの年間購読もおすすめます。前金一括払いの購入の場合は下記の方法でお申し込みください。
- (1)小社特約店（書店）へお申し込みください。
特約店一覧 <https://www.ishiyaku.co.jp/tokuyaku.aspx>
- (2)富士山マガジンサービス（<https://fujisan.co.jp>）へお申し込みください。希望する雑誌名で検索してください。

読者アンケートについて

小誌へのご意見やご感想、ご要望などを下記QRコードよりお送りください。JCNパズルの正解者から抽選で図書カードを進呈させていただきます。



臨床栄養 The Japanese Journal of Clinical Nutrition

2026年6月号

第148巻・第7号／通巻1020号

2026年5月25日印刷 2026年6月1日発行

定価2,090円（本体1,900円＋税10％）

編集発行人／白石泰夫

発行所／医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1丁目7番10号

電話 編集 (03) 5395-7625(直)・販売7616(代)

表紙デザイン／山影麻奈 表紙イラスト／山里美紀子

デザイナー／杉山光章、(株)アクティナワークス、(株)明昌堂、クニメディア(株)

印刷所／壮光舎印刷(株) 製本所／榎本製本(株)

URL : <https://www.ishiyaku.co.jp/>

E-mail : jcn@ishiyaku.co.jp (編集部),
m-sales@ishiyaku.co.jp (販売)

本誌の複製権・翻訳権・翻案権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）・口述権は、医歯薬出版(株)が保有します。本誌を無断で複製する行為（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」などの著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。また私的使用に該当する場合であっても、請負業者等の第三者に依頼し上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌をコピーやスキャン等により複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。